令和7年1月10日現在差替版

対象校No. 314
注４

学校コード F107310101322
注３

設置年度　令和　3年度

計画の区分：　学部の学科の設置
注１

届出

注2
医療創生大学　国際看護学部　看護学科　（必要がある場合）〇〇専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人医療創生大学
令和６年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	柏キャンパス事務局
職名・氏名	小林（コバヤシ）　勝次郎（ショウジロウ）
電話番号	04-7136-0007
（夜間）	04-7126-0001
ｅ－mail	kashiwa.somu@isu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人医療創生大学

（2）大　学　名

医療創生大学

（3）調査対象大学等の位置

〒277-0803
千葉県柏市小青田１丁目３番４号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ シンタニ　タカヨシ ） 新谷　幸義 （令和2年4月）		
学　　長	（ シンタニ　タカヨシ ） 新谷　幸義 （令和2年4月）		
学 部 長	（ カワグチ　タカヤス ） 川口　孝泰 （令和3年4月）		
学科長等	~~（ フルヤ　カユリ ）~~ ~~古谷　佳由理~~ ~~（令和3年4月）~~	（ カワグチ　タカヤス ） 川口　孝泰 （令和6年4月）	退職したため 令和6年4月1日（6）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・　様式は、令和元年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人	－	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	80人 80 （　） ［　］	—人	80人 80 （　） ［　］	—人	80人 80 （　） ［　］	—人	80人 80 （　） ［　］	—人	－	0.93倍	—倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	198 （－） ［－］	－ （－） ［－］	166 （－） ［－］	－ （－） ［－］	124 （－） ［－］	－ （－） ［－］	108 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	186 （－） ［－］	－ （－） ［－］	149 （－） ［－］	－ （－） ［－］	119 （－） ［－］	－ （－） ［－］	102 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	149 （－） ［－］	－ （－） ［－］	121 （－） ［－］	－ （－） ［－］	110 （－） ［－］	－ （－） ［－］	93 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	88 （－） ［－］	－ （－） ［－］	78 （－） ［－］	－ （－） ［－］	83 （－） ［－］	－ （－） ［－］	69 （－） ［－］	－ （－） ［－］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		1.10		0.97		1.03		0.86					

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（(　)）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・　「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・　「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・　「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	88 [－] (－)	－ [－] (－)	78 [－] (－)	－ [－] (－)	87 [－] (4)	－ [－] (－)	70 [－] (1)	－ [－] (－)	令和6年度 1年次70人の内訳 新入学生69人+留年者1人＝合計70人 2年次87人の内訳 前年度1年生87人-退学者6人-留年者1人＝進級者80人 進級者80人+休学者3人+復学者1人+留年者3人＝合計87人 3年次62人の内訳 前年度2年生75人-退学者7人-休学者4人-留年者3人＝ 進級者61人+復学者1人＝合計62人 4年次81人の内訳 前年度3年生83人-退学者1人-休学者1人＝合計81人
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	87 [－] (－)	－ [－] (－)	75 [－] (2)	－ [－] (－)	87 [－] (3)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	83 [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	81 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		88 [－] (－)		165 [－] (－)		245 [－] (6)		300 [－] (4)		

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和元年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	88 人	2 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 経済的事情と学生の心身に関する事情(1人)
令和4年度	165 人	2 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	1 人	0 人	希望進路との相違による就学意欲の低下(1人)
			令和4年度	1 人	0 人	他分野の学校への進学(1人)
令和5年度	245 人	14 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	1 人	0 人	経済的事情(1人)
			令和4年度	7 人	0 人	他分野への進路変更(5人)、病気等体調不良(2人)
			令和5年度	6 人	0 人	学力不振による就学意欲の低下(3人) 家庭の事情(1人)、他分野への進路変更(2人)
令和6年度	300 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合　計		18 人		18 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) ＝ 2 / 88 ＝ 2.27 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) ＝ 2 / 165 ＝ 1.21 %

【令和5年度】

令和5年度の退学者数(a) / 令和5年度の在学者数(b) ＝ 14 / 245 ＝ 5.71 %

【令和6年度】

令和6年度の退学者数(a) / 令和6年度の在学者数(b) ＝ 0 / 300 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜国際看護学部　看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通教育科目	フレッシャーズセミナー	1前	2			11					3
	日本語リテラシー	1前	1								3
	コンピュータリテラシー	1前	1			1					
	英語A1	1前	1								2
	英語A2	1後	1								2
	英語B1	1前	1								1
	英語B2	1後	1								1
	英語C1	2前	1								2
	英語C2	2後	1								2
	中国語1	2前		1					1		
	中国語2	2後		1					1		
	韓国語1	2前		1							1
	韓国語2	2後		1							1
	健康の科学	1前	2								2
	健康・スポーツ1	1前	1								2
	健康・スポーツ2	1後	1								2
	哲学の世界	1前		2							1
	心理学概論	1前		2							1
	倫理学の世界	1後		2							1
	法学入門	1後		2							1
	社会学入門	1後		2							1
	世界の歴史と文化	1後		2							1
	自然科学のあゆみ	1前		2							1
	統計のしくみ	1前		2		1					
	生命の科学	1前		2		1					
	情報演習	1前	1			1					
	小計（26科目）	－	15	22							
専門教育科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	2			1					
	人体の構造と機能Ⅳ	1後	2			1					
	こころとからだの探求	1後	1			1					
	薬物と薬物療法	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅰ	1後	1			1					
	疾病と治療Ⅱ	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅲ	2後	2			1					
	公衆衛生学	2前	2			1					
	医療統計学演習	1後	1			1					
	健康福祉社会とグローバル化	2後	2								1
	地域における健康増進	1後	1			1					
	看護学原論	1前	2			1					
	健康教育と看護倫理	1後	2			1					
	看護と人間関係	2前	2				1				
	看護の基礎技術	1前	2				1				
	基礎看護技術Ⅰ	1後	1					1	1		
	基礎看護技術Ⅱ	2前	1					1	1		
	フィジカルアセスメント	2後	1				1				
	基礎看護学実習Ⅰ	1前・後	1			1	6	3	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2前・後	2			1	6	3	3		

【令和６年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通教育科目	フレッシャーズセミナー	1前	2			7	2	1	1		
	日本語リテラシー	1前	1								1
	コンピュータリテラシー	1前	1			1	1				1
	英語A1	1前	1								3
	英語A2	1後	1								3
	英語B1	1前	1								3
	英語B2	1後	1								3
	英語C1	2前	1								3
	英語C2	2後	1								3
	中国語1	2前		1					1		
	中国語2	2後		1					1		
	韓国語1	2前		1							1
	韓国語2	2後		1							1
	健康の科学	1前	2								1
	健康・スポーツ1	1前	1								1
	健康・スポーツ2	1後	1								1
	哲学の世界	1前		2							1
	心理学概論	1前		2							1
	倫理学の世界	1後		2							1
	法学入門	1後		2							1
	社会学入門	1後		2							1
	世界の歴史と文化	1後		2							1
	自然科学のあゆみ	1前		2							1
	統計のしくみ	1前		2		1					
	生命の科学	1前		2		1					
	情報演習	1前	1			1					
	小計（26科目）	－	15	22							
専門教育科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	2			1					
	人体の構造と機能Ⅳ	1後	2			1					
	こころとからだの探求	1後	1			1					
	薬物と薬物療法	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅰ	1後	1			1					
	疾病と治療Ⅱ	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅲ	2後	2			1					
	公衆衛生学	2前	2								1
	医療統計学演習	1後	1			1					
	健康福祉社会とグローバル化	2後	2								1
	地域における健康増進	1後	1			2		1	1		
	看護学原論	1前	2			1					
	健康教育と看護倫理	1後	2			4	3		1		
	看護と人間関係	2前	2			1	3		1		
	看護の基礎技術	1前	2				2		1		
	基礎看護技術Ⅰ	1後	1				2		1		
	基礎看護技術Ⅱ	2前	1				2		1		
	フィジカルアセスメント	2後	1				3		1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1前・後	1				4	2	2		
	基礎看護学実習Ⅱ	2前・後	2				3	2	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	成人看護学概論Ⅰ（急性期）	2前	2			1					
	成人看護学概論Ⅱ（慢性期）	2後	2			1					
	成人急性期の看護方法	3前	1			1	1	1			
	成人慢性期の看護方法	3前	1			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅰ	3前・後	3			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅱ	3前・後	3			1	1	1			
	老年看護学概論	2前	2			1					
	老年看護活動/援助論	2後	1				2				
	老年看護学演習	3前	1				2				
	老年看護学実習Ⅰ	3前・後	2			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅱ	3前・後	2			1	1		1		
	小児看護学概論	2前	2			2					
	小児看護活動/援助論	2後	1			1	1				
	小児看護学演習	3前	1			1	1				
	小児看護学実習	3前・後	2			2	1				
	母性看護学概論	2前	2			1					
	母性看護活動/援助論	2後	1			1					
	母性看護学演習	3前	1			2					
	母性看護学実習	3前・後	2			2					
	精神看護学概論	2前	2			1	1				
	精神看護活動/援助論	2後	1			1	1		1		
	精神看護学演習	3前	1			1			1		
	精神看護学実習	3前・後	2			1	1		1		
	在宅看護学概論	2前	2			1					
	地域看護と地域包括ケアシステム	2後	2			1					
	在宅看護活動/援助論	2後	1			1		1			
	在宅看護学演習	3前	1			1		1			
	在宅看護学実習	3前・後	2			3		1			
	医療英語	3前	1			2					
	国際看護学	3前	2				1				
	英語診療演習	3前	1			2		1	1		
	国際看護実習Ⅰ	3前・後	1			2	1	1	1		
	国際看護実習Ⅱ	4前		1		2	1	1	1		
	看護の統合と実践	4前	1			1					
	看護研究の基礎	4前	2			2					
	チーム医療と医療安全	4前	1			1					
	看護マネージメント	4前	1			1	1				
	遠隔看護と看護情報	4後	1			1					
	看護とリハビリテーション	4後	1			1					
	看護学総合講義	4後	4			13					
	応用看護演習OSCE/IBT	4前	1			10	8	3	3		
	看護学統合実習	4前・後	2			10	8	3	3		
	小計（64科目）	－	101	1	0						
合計（90科目）		－	116	23	0						

卒業要件及び履修方法

必修科目116単位，全学共通教育科目の選択科目から8単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	地域・在宅看護学概論	2前	2			2					
	地域看護と地域包括ケアシステム	2後	2			1					
	地域・在宅看護活動／援助論	2後	1			1		1	1		
	地域・在宅看護学演習	3前	1			1		1	1		
	地域を学ぶ	1後	1			2	2	1	2		
	地域・在宅看護学実習	3前・後	2			2		1	1		
	成人看護学概論Ⅰ（急性期）	2前	2			1					
	成人看護学概論Ⅱ（慢性期）	2後	2			1					
	成人急性期の看護方法	3前	1			2	1	1	1		
	成人慢性期の看護方法	3前	1			2	1	1	1		
	成人看護学実習Ⅰ【急性期】	3前・後	2			1	1	1	1		
	成人看護学実習Ⅱ【慢性期】	3前・後	2			1	1	1	1		
	成人看護学実習（外来／地域・多職種）	3前・後	1			2	1	1	1		
	老年看護学概論	2前	2			1					
	老年看護活動／援助論	2後	1				1	1			
	老年看護学演習	3前	1			1	1	1	1		
	老年看護学実習Ⅰ	3前・後	2			1	1	1	1		
	老年看護学実習Ⅱ	3前・後	2			1	1	1	1		
	小児看護学概論	2前	2			1	1				1
	小児看護活動／援助論	2後	1			1					
	小児看護学演習	3前	1			1	2		1		
	小児看護学実習	3前・後	2			1	1				
	母性看護学概論	2前	2			2					
	母性看護活動／援助論	2後	1			2					
	母性看護学演習	3前	1			2					
	母性看護学実習	3前・後	2			2					
	精神看護学概論	2前	2			1	1	1			
	精神看護活動／援助論	2後	1			1	1				
	精神看護学演習	3前	1			1	1	1			
	精神看護学実習	3前・後	2			1	1	1			
	医療英語	3前	1			2					
	国際看護学	3前	2			1			1		
	英語診療演習	3前	1			2			1		
	国際看護実習Ⅰ	3前・後	1			2			2		
	国際看護実習Ⅱ	4前		1		2			2		
	看護の統合と実践	4前	1			1					
	看護研究の基礎	4前	2			2					
	チーム医療と医療安全	4前	1			1					
	看護マネージメント	4前	1			2	1		1		
	遠隔看護と看護情報	4後	1			1					
	看護とリハビリテーション	4後	1			1					
	看護学総合講義	4後	4			13	6	3	6		
	応用看護演習OSCE/IBT	4前	1			9	6	4	6		
	看護学統合実習	4前・後	2			10	6	4	6		
	小計（66科目）	－	101	1	0						
合計（92科目）		－	116	23	0						

卒業要件及び履修方法

必修科目116単位，全学共通教育科目の選択科目から8単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

【令和５年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通教育科目	フレッシャーズセミナー	1前	2			12					
	日本語リテラシー	1前	1								1
	コンピュータリテラシー	1前	1			1	2				
	英語A1	1前	1								2
	英語A2	1後	1								2
	英語B1	1前	1								2
	英語B2	1後	1								2
	英語C1	2前	1								2
	英語C2	2後	1								2
	中国語1	2前		1					1		
	中国語2	2後		1					1		
	韓国語1	2前		1							1
	韓国語2	2後		1							1
	健康の科学	1前	2								1
	健康・スポーツ1	1前	1								1
	健康・スポーツ2	1後	1								1
	哲学の世界	1前		2							1
	心理学概論	1前		2							1
	倫理学の世界	1後		2							1
	法学入門	1後		2							1
	社会学入門	1後		2							1
	世界の歴史と文化	1後		2							1
	自然科学のあゆみ	1前		2							1
	統計のしくみ	1前		2		1					
	生命の科学	1前		2		1					
	情報演習	1前	1			1					
	小計（26科目）	－	15	22							
専門教育科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2			2					
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	2			1					
	人体の構造と機能Ⅳ	1後	2			2					
	こころとからだの探求	1後	1			1					
	薬物と薬物療法	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅰ	1後	1			2					
	疾病と治療Ⅱ	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅲ	2後	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	医療統計学演習	1後	1			1					
	健康福祉社会とグローバル化	2後	2								1
	地域における健康増進	1後	1			3					
	看護学原論	1前	2			1					
	健康教育と看護倫理	1後	2			1					
	看護と人間関係	2前	2			1	2				
	看護の基礎技術	1前	2				1		1		
	基礎看護技術Ⅰ	1後	1				1		1		
	基礎看護技術Ⅱ	2前	1				1		1		
	フィジカルアセスメント	2後	1			2	2				
	基礎看護学実習Ⅰ	1前・後	1				5	2	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2前・後	2				5	2	3		
	地域・在宅看護学概論	2前	2			2					
	地域看護と地域包括ケアシステム	2後	2			1					
	地域・在宅看護活動／援助論	2後	1			1		1	1		
	地域・在宅看護学演習	3前	1			1		1	1		

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通教育科目	フレッシャーズセミナー	1前	2			11					1
	日本語リテラシー	1前	1								1
	コンピュータリテラシー	1前	1			1	2				
	英語A1	1前	1								2
	英語A2	1後	1								2
	英語B1	1前	1								2
	英語B2	1後	1								2
	英語C1	2前	1								2
	英語C2	2後	1								2
	中国語1	2前		1					1		
	中国語2	2後		1					1		
	韓国語1	2前		1							1
	韓国語2	2後		1							1
	健康の科学	1前	2								1
	健康・スポーツ1	1前	1								1
	健康・スポーツ2	1後	1								1
	哲学の世界	1前		2							1
	心理学概論	1前		2							1
	倫理学の世界	1後		2							1
	法学入門	1後		2							1
	社会学入門	1後		2							1
	世界の歴史と文化	1後		2							1
	自然科学のあゆみ	1前		2							1
	統計のしくみ	1前		2		1					
	生命の科学	1前		2		1					
	情報演習	1前	1			1					
	小計（26科目）	－	15	22							
専門教育科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2			2					
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	2			1					
	人体の構造と機能Ⅳ	1後	2			2					
	こころとからだの探求	1後	1			1					
	薬物と薬物療法	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅰ	1後	1			2					
	疾病と治療Ⅱ	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅲ	2後	2			2					
	公衆衛生学	2前	2			3					3
	医療統計学演習	1後	1			1					
	健康福祉社会とグローバル化	2後	2								1
	地域における健康増進	1後	1			1					
	看護学原論	1前	2			1					
	健康教育と看護倫理	1後	2			1					
	看護と人間関係	2前	2			2	2				
	看護の基礎技術	1前	2				1		1		
	基礎看護技術Ⅰ	1後	1				1	1	1		
	基礎看護技術Ⅱ	2前	1					1	1		
	フィジカルアセスメント	2後	1				1		1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1前・後	1				5	2	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2前・後	2				5	2	3		
	地域・在宅看護学概論	2前	2			1					
	地域看護と地域包括ケアシステム	2後	2			1					
	地域・在宅看護活動／援助論	2後	1			1		1			
	地域・在宅看護学演習	3前	1			1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	地域を学ぶ	1後	1			1	5	2	3		
	地域・在宅看護学実習	3前・後	2			2		1	1		
	成人看護学概論Ⅰ(急性期)	2前	2			1					
	成人看護学概論Ⅱ(慢性期)	2後	2			1					
	成人急性期の看護方法	3前	1			1	1	1			
	成人慢性期の看護方法	3前	1			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅰ【急性期】	3前・後	2			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅱ【慢性期】	3前・後	2			1	1	1			
	成人看護学実習(外来／地域・多職種)	3前・後	1			2	2				
	老年看護学概論	2前	2			1					
	老年看護活動／援助論	2後	1				1				
	老年看護学演習	3前	1				1				
	老年看護学実習Ⅰ	3前・後	2			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅱ	3前・後	2			1	1		1		
	小児看護学概論	2前	2			2					
	小児看護活動／援助論	2後	1			1	1				
	小児看護学演習	3前	1			1	1				
	小児看護学実習	3前・後	2			2	1				
	母性看護学概論	2前	2			1					
	母性看護活動／援助論	2後	1			1					
	母性看護学演習	3前	1			2					
	母性看護学実習	3前・後	2			2					
	精神看護学概論	2前	2			1	1				
	精神看護活動／援助論	2後	1			1	1				
	精神看護学演習	3前	1			1	1				
	精神看護学実習	3前・後	2			1	1				
	医療英語	3前	1			2					
	国際看護学	3前	2						1		
	英語診療演習	3前	1			2			1		
	国際看護実習Ⅰ	3前・後	1			2			2		
	国際看護実習Ⅱ	4前		1		2			2		
	看護の統合と実践	4前	1			1					
	看護研究の基礎	4前	2			2					
	チーム医療と医療安全	4前	1			1					
	看護マネージメント	4前	1			1	1				
	遠隔看護と看護情報	4後	1			1					
	看護とリハビリテーション	4後	1			1					
	看護学総合講義	4後	4			12					
	応用看護演習OSCE/IBT	4前	1			10	6	2	4		
	看護学統合実習	4前・後	2			10	6	2	4		
	小計(66科目)	－	101	1	0						
合計(92科目)		－	116	23	0						

卒業要件及び履修方法

必修科目116単位，全学共通教育科目の選択科目から8単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	地域を学ぶ	1後	1				4	1	2		
	地域・在宅看護学実習	3前・後	2			1		1			
	成人看護学概論Ⅰ(急性期)	2前	2			1					
	成人看護学概論Ⅱ(慢性期)	2後	2			1					
	成人急性期の看護方法	3前	1			1	1				
	成人慢性期の看護方法	3前	1			1	1				
	成人看護学実習Ⅰ【急性期】	3前・後	2			1	1				
	成人看護学実習Ⅱ【慢性期】	3前・後	2			1	1				
	成人看護学実習(外来／地域・多職種)	3前・後	1			2	2				
	老年看護学概論	2前	2			1					
	老年看護活動／援助論	2後	1				2				
	老年看護学演習	3前	1				2				
	老年看護学実習Ⅰ	3前・後	2			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅱ	3前・後	2			1	1		1		
	小児看護学概論	2前	2			2					
	小児看護活動／援助論	2後	1			2					
	小児看護学演習	3前	1			1					
	小児看護学実習	3前・後	2			2					
	母性看護学概論	2前	2			1					
	母性看護活動／援助論	2後	1			1					
	母性看護学演習	3前	1			2					
	母性看護学実習	3前・後	2			2					
	精神看護学概論	2前	2			1	1				
	精神看護活動／援助論	2後	1			1	1		1		
	精神看護学演習	3前	1			1			1		
	精神看護学実習	3前・後	2			1	1		1		
	医療英語	3前	1			2					
	国際看護学	3前	2			1					
	英語診療演習	3前	1			2			1		
	国際看護実習Ⅰ	3前・後	1			2			1		
	国際看護実習Ⅱ	4前		1		2			1		
	看護の統合と実践	4前	1			1					
	看護研究の基礎	4前	2			2					
	チーム医療と医療安全	4前	1			1					
	看護マネージメント	4前	1			1	1				
	遠隔看護と看護情報	4後	1			1					
	看護とリハビリテーション	4後	1			1					
	看護学総合講義	4後	4			12					
	応用看護演習OSCE/IBT	4前	1			10	6	2	3		
	看護学統合実習	4前・後	2			10	6	2	3		
	小計(66科目)	－	101	1	0						
合計(92科目)		－	116	23	0						

卒業要件及び履修方法

必修科目116単位，全学共通教育科目の選択科目から8単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	フレッシャーズセミナー	1前	2			10					1
	日本語リテラシー	1前	1								1
	コンピュータリテラシー	1前	1			1	2				
	英語A1	1前	1								1
	英語A2	1後	1								1
	英語B1	1前	1								1
	英語B2	1後	1								1
	英語C1	2前	1								1
	英語C2	2後	1								1
	中国語1	2前		1					1		
	中国語2	2後		1					1		
	韓国語1	2前		1							1
	韓国語2	2後		1							1
	健康の科学	1前	2								1
	健康・スポーツ1	1前	1								1
	健康・スポーツ2	1後	1								1
	哲学の世界	1前		2							1
	心理学概論	1前		2							1
	倫理学の世界	1後		2							1
	法学入門	1後		2							1
	社会学入門	1後		2							1
	世界の歴史と文化	1後		2							1
	自然科学のあゆみ	1前		2							1
	統計のしくみ	1前		2		1					
	生命の科学	1前		2		1					
	情報演習	1前	1			1					
	小計（26科目）	－	15	22							
専門教育科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2			2					
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	2			1					
	人体の構造と機能Ⅳ	1後	2			2					
	こころとからだの探求	1後	1			1					
	薬物と薬物療法	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅰ	1後	1			2					
	疾病と治療Ⅱ	2前	2			1					
	疾病と治療Ⅲ	2後	2			2					
	公衆衛生学	2前	2			1					
	医療統計学演習	1後	1			2					
	健康福祉社会とグローバル化	2後	2								1
	地域における健康増進	1後	1			1					
	看護学原論	1前	2			1					
	健康教育と看護倫理	1後	2			1					
	看護と人間関係	2前	2				1				
	看護の基礎技術	1前	2				1				
	基礎看護技術Ⅰ	1後	1					1	1		
	基礎看護技術Ⅱ	2前	1					1	1		
	フィジカルアセスメント	2後	1				1				
	基礎看護学実習Ⅰ	1前・後	1			1	6	3	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2前・後	2			1	6	3	3		
	成人看護学概論Ⅰ（急性期）	2前	2			1					
	成人看護学概論Ⅱ（慢性期）	2後	2			1					
	成人急性期の看護方法	3前	1			1	1	1			
	成人慢性期の看護方法	3前	1			1	1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	成人看護学実習Ⅰ	3前・後	3			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅱ	3前・後	3			1	1	1			
	老年看護学概論	2前	2			1					
	老年看護活動/援助論	2後	1				2				
	老年看護学演習	3前	1				2				
	老年看護学実習Ⅰ	3前・後	2			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅱ	3前・後	2			1	1		1		
	小児看護学概論	2前	2			2					
	小児看護活動/援助論	2後	1			**2**					
	小児看護学演習	3前	1			1					
	小児看護学実習	3前・後	2			2					
	母性看護学概論	2前	2			1					
	母性看護活動/援助論	2後	1			1					
	母性看護学演習	3前	1			2					
	母性看護学実習	3前・後	2			2					
	精神看護学概論	2前	2			1	1				
	精神看護活動/援助論	2後	1			1	1		1		
	精神看護学演習	3前	1			1			1		
	精神看護学実習	3前・後	2			1	1		1		
	在宅看護学概論	2前	2			1					
	地域看護と地域包括ケアシステム	2後	2			1					
	在宅看護活動/援助論	2後	1			1		1			
	在宅看護学演習	3前	1			1		1			
	在宅看護学実習	3前・後	2			3		1			
	医療英語	3前	1			2					
	国際看護学	3前	2				1				
	英語診療演習	3前	1			2		1	1		
	国際看護実習Ⅰ	3前・後	1			2	1	1	1		
	国際看護実習Ⅱ	4前		1		2	1	1	1		
	看護の統合と実践	4前	1			1					
	看護研究の基礎	4前	2			2					
	チーム医療と医療安全	4前	1			1					
	看護マネージメント	4前	1			1	1				
	遠隔看護と看護情報	4後	1			1					
	看護とリハビリテーション	4後	1			1					
	看護学総合講義	4後	4			**12**					
	応用看護演習OSCE/IBT	4前	1			10	**7**	3	3		
	看護学統合実習	4前・後	2			10	**7**	3	3		
	小計(64科目)	－	101	1	0						
合計(90科目)		－	116	23	0						

卒業要件及び履修方法

必修科目116単位，全学共通教育科目の選択科目から8単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和４年度開設であれば令和３年度以前）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和３年度】

・就任辞退及び就任予定年月変更の理由により「フレッシャーズセミナー」の専任教員等の配置を「教授１１」から「教授１０」に変更及び兼任・兼担の配置を「３」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「人体の構造と機能Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・就任辞退の理由により「人体の構造と機能Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・就任辞退の理由により「疾病と治療Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・就任辞退の理由により「疾病と治療Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・就任辞退の理由により「医療統計学演習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・就任辞退の理由により「コンピュータリテラシー」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１」と「准教授２」に変更。
・就任辞退の理由により「日本語リテラシー」の兼任・兼担の配置を「３」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「英語Ａ1」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「英語Ａ2」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「英語Ｃ1」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「英語Ｃ2」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「健康の科学」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「健康・スポーツ1」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「健康・スポーツ2」の兼任・兼担の配置を「２」から「１」に変更。
・就任辞退の理由により「小児看護活動/援助論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」へ、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・就任辞退の理由により「小児看護学演習」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」に変更。
・就任辞退の理由により「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」に変更。
・就任延期の理由により「看護学総合講義」の専任教員等の配置を「教授１３」から「教授１２」に変更。
・就任辞退の理由により「応用看護演習OSCE/IBT」の専任教員等の配置を「准教授８」から「准教授７」に変更。
・就任辞退の理由により「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「准教授８」から「准教授７」に変更。

【令和４年度】

・学則・教育課程の変更の理由により授業科目名を「在宅看護学概論」から「地域・在宅看護学概論」に変更。
・学則・教育課程の変更の理由により授業科目名を「在宅看護活動/援助論」から「地域・在宅看護学概論/援助論」に変更。
・学則・教育課程の変更の理由により授業科目名を「在宅看護学演習」から「地域・在宅看護学演習」に変更。
・学則・教育課程の変更の理由により授業科目名を「在宅看護学実習」から「地域・在宅看護学実習」に変更。
・学則・教育課程の変更の理由により「地域を学ぶ」を追加。
・学則・教育課程の変更の理由により「成人看護学実習（外来／地域・多職種）」を追加。
・教員補充の理由により「フレッシャーズセミナー」の専任教員等の配置を「教授１０」から「教授１１」に変更
・教員補充の理由により「英語Ａ1」の兼任・兼担の配置を「１」から「２」に変更。
・教員補充の理由により「英語Ａ2」の兼任・兼担の配置を「１」から「２」に変更。
・教員補充の理由により「英語Ｂ1」の兼任・兼担の配置を「１」から「２」に変更。
・教員補充の理由により「英語Ｂ2」の兼任・兼担の配置を「１」から「２」に変更。
・教員補充の理由により「英語Ｃ1」の兼任・兼担の配置を「１」から「２」に変更。
・教員補充の理由により「英語Ｃ2」の兼任・兼担の配置を「１」から「２」に変更。
・教育内容充実の理由により「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授３」へ、兼任・兼担「０」から「３」に変更。
・教員退職の理由により「医療統計学演習」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」に変更。
・教育内容充実の理由により「看護と人間関係」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授２」へ、「准教授１」から「准教授２」に変更。
・教育内容充実の理由により「看護の基礎技術」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・教育内容充実の理由により「基礎看護技術Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に変更。
・教育内容充実の理由により「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・教員退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」へ、「准教授６」から「准教授５」へ、「講師３」から「講師２」に変更。
・教員退職の理由により「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」へ、「准教授６」から「准教授５」へ、「講師３」から「講師２」に変更。
・教員退職の理由により「成人急性期の看護方法」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「成人慢性期の看護方法」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「成人看護学実習Ⅰ【急性期】」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「成人看護学実習Ⅱ【慢性期】」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「国際看護学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」へ、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・教員退職の理由により「英語診療」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「国際看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」へ、「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「国際看護実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」へ、「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「応用看護演習OSCE/IBT」の専任教員等の配置を「准教授７」から「准教授６」へ、「講師３」から「講師２」に変更。
・教員退職の理由により「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「准教授７」から「准教授６」へ、「講師３」から「講師２」に変更。

【令和５年度】

・兼担教員から専任教員就任により「フレッシャーズセミナー」の専任教員等の配置を「教授１１」から「教授１２」へ、兼任・兼担「１」から
「０」に変更。
・就任辞退の理由により変更した「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授３」から「教授０」へ、兼任・兼担「３」から「１」に変更。
・教育内容充実の理由により「地域における健康増進」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授３」に変更。
・教員退職と教員補充の状況により「看護と人間関係」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」に変更。
・教員退職の理由により「基礎看護技術Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師０」に変更。
・教員退職の理由により「基礎看護技術Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」へ、「講師１」から「講師０」に変更。
・教育内容充実の理由により「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授２」へ、「准教授１」から「准教授２」へ、
「助教１」から「助教０」に変更。
・教育内容充実の理由により「地域・在宅看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「地域・在宅看護学概論/援助論」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「地域・在宅看護学演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「地域を学ぶ」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」へ、「准教授４」から「准教授５」へ、
「講師１」から「講師２」へ、「助教２」から「助教３」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「地域・在宅看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」へ、「助教０」から「助教１」に変更。
・教員補充の理由により「成人急性期の看護方法」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」に変更。
・教員補充の理由により「成人慢性期の看護方法」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」に変更。
・教員補充の理由により「成人看護学実習Ⅰ【急性期】」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」に変更。
・教員補充の理由により「成人看護学実習Ⅱ【慢性期】」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」に変更。
・教員退職の理由により「老年看護活動/援助論」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授１」に変更。
・教員退職の理由により「老年看護学演習」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授１」に変更。
・教員補充の理由により「小児看護活動/援助論」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」へ、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・教員補充の理由により「小児看護学演習」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に変更。
・教員補充の理由により「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に変更。
・教員退職の理由により「精神看護活動/援助論」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教０」に変更。
・教員退職の理由により「精神看護学演習」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」へ、「助教１」から「助教０」に変更。
・教員退職の理由により「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教０」に変更。
・教員補充の理由により「国際看護学」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」へ、「助教０」から「助教１」に変更。
・教員補充の理由により「国際看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教２」に変更。
・教員補充の理由により「国際看護実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教２」に変更。
・教員補充の理由により「応用看護演習OSCE/IBT」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」に変更。
・教員補充の理由により「看護学統合実習」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」に変更。

【令和６年度】

・教員退職の理由により「フレッシャーズセミナー」の専任教員の配置を「教授１２」から「教授７」、「准教授２」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教員退職の理由により「コンピュータリテラシー」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授２」から「教授１」、「准教授１」、「兼任１」に変更。
・教育内容充実の理由により「英語Ａ1」、「英語Ａ2」、「英語Ｂ1」、「英語Ｂ2」、「英語Ｃ1」、「英語Ｃ2」の兼任・兼担教員の配置を「２」から「３」に変更。
・教員退職の理由により「人体の構造と機能Ⅱ」、「人体の構造と機能Ⅳ」を「教授２」から「教授１」に変更。
・教員退職の理由により「疾病と治療Ⅰ」、「疾病と治療Ⅲ」を「教授２」から「教授１」に変更。
・教員補充の理由により「地域における健康増進」の専任教員の配置を「教授３」から「教授２」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教育内容充実の理由により「健康教育と看護倫理」の専任教員の配置を「教授１」から「教授４」、「准教授３」、「助教１」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「看護と人間関係」の専任教員等の配置を「教授１」、「准教授２」から「教授１」、「准教授３」、「助教１」に変更。
・教員補充の理由により「看護の基礎技術」の専任教員の配置を「准教授１」、「助教１」から「准教授２」、「助教１」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「基礎看護技術Ⅰ」、「基礎看護技術Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授１」、「助教１」から「准教授２」、「助教１」に変更。
・教員補充の理由により「フィジカルアセスメント」の専任教員の配置を「教授２」、「准教授２」から「准教授３」、「助教１」に変更。
・教員退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授５」、「講師２」、「助教３」から「准教授４」、「講師２」、「助教２」に変更。
・教員退職の理由により「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授５」、「講師２」、「助教３」から「准教授３」、「講師２」、「助教２」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「地域を学ぶ」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授５」、「講師２」、「助教３」から「教授２」、「准教授２」、「講師１」、「助教２」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「成人急性期の看護方法」、「成人慢性期の看護方法」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」、「講師１」から「教授２」、「准教授１」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「成人看護学実習Ⅰ【急性期】」、「成人看護学実習Ⅱ【慢性期】」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」、「講師１」から「教授１」、「准教授１」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「成人看護学実習Ⅰ（外来/地域・多職種）」の専任教員の配置を「教授２」、「准教授２」から「教授２」、「准教授１」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教員補充の理由により「老年看護活動/援助論」の専任教員の配置を「准教授１」から「准教授１」、「講師１」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「老年看護学演習」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」、「准教授１」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教員補充と教育内容充実の理由により「老年看護学実習Ⅰ」、「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」、「助教１」から「教授１」、「准教授１」、「講師１」、「助教１」に変更。
・教員退職の理由により「小児看護学概論」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」、「准教授１」、「兼任教員１」に変更。
・教員退職の理由により「小児看護活動/援助論」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」から「教授１」に変更。
・教員退職の理由により「小児看護学演習」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」から「教授１」、「准教授２」、「助教１」に変更。
・教員退職の理由により「小児看護学実習」の専任教員の配置を「教授２」、「准教授１」から「教授１」、「准教授１」に変更。
・教員補充の理由により「母性看護学概論」の専任教員の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・教員補充の理由により「母性看護活動/援助論」の専任教員の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・教員補充の理由により「精神看護学概論」、「精神看護学演習」、「精神看護学実習」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」から「教授１」、「准教授１」、「講師１」に変更。
・教育内容充実の理由により「国際看護学」の専任教員の配置を「助教１」から「教授１」、「助教１」に変更。
・教育内容充実の理由により「看護マネージメント」の専任教員の配置を「教授１」、「准教授１」から「教授２」、「准教授１」、「助教１」に変更。
・教育内容充実の理由により「看護学総合講義」の専任教員の配置を「教授１２」から「教授１３」、「准教授６」、「講師３」、「助教６」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「応用看護演習OSCE/IBT」の専任教員の配置を「教授１０」、「准教授６」、「講師２」、「助教４」から「教授９」、「准教授６」、「講師４」、「助教６」に変更。
・教員退職と教員補充の理由により「看護学総合実習」の専任教員の配置を「教授１０」、「准教授６」、「講師２」、「助教４」から「教授１０」「准教授６」、「講師４」、「助教６」に変更。

（注）・　２（１）一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和４年度開設であれば令和３年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
76 科目	14 科目	科目	90 科目	78 科目 [2]	14 科目 [0]	科目 [ ]	92 科目 [2]	指定規則の改正により旧カリキュラムの授業科目数９０科目より２科目増加

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・　該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・　該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{90} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 借用面積：8,535.71㎡ ~~9,460.02㎡~~ ~~10,585.96㎡~~ 借用期間：30年 令和3年4月 借用地の一部返却のため(3) 令和6年4月 借用土地に医療創生大学歯科衛生専門学校校舎建設により借用土地面積減(6)
	校舎敷地	126,160.57㎡	㎡	0㎡	126,160.57㎡	
	運動場用地	25,426.87㎡ ~~25,347.77㎡~~	㎡	㎡	25,426.87㎡ ~~25,347.77㎡~~	
	小計	151,587.44㎡ ~~151,508.34㎡~~	㎡	0㎡	151,587.44㎡ ~~151,508.34㎡~~	
	その他	310,592.17㎡ ~~316,871.27㎡~~ ~~318,076.31㎡~~	5,354.79㎡ ~~0㎡~~	924.31㎡ ~~0㎡~~	316,871.27㎡ ~~318,076.31㎡~~	
	合計	462,179.61㎡ ~~468,458.71㎡~~ ~~469,584.65㎡~~	5,354.79㎡ ~~0㎡~~	924.31㎡ ~~0㎡~~	468,458.71㎡ ~~469,584.65㎡~~	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 借用面積：1,278.85㎡ 借用期間：29年 葵会柏看護専門学校(必要面積860.0㎡)と共用(令和3年度収容定員：160名)(令和4年度収容定員：80名) 令和5年4月　葵会柏看護専門学校廃止により共用がなくなる(5)
		53,500.33㎡ （47,556.87㎡）	0㎡ （5,203.52㎡）	0㎡ （739.94㎡）	53,500.33㎡ （53,500.33㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	柏キャンパス
	6室	15室	9室	1室 （補助職員　—人）	0室 （補助職員　—人）	

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	柏キャンパス
	国際看護学部　看護学科	30室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	柏キャンパス 令和3年4月，令和4年4月 図書：専門学校購入図書が増えたため(3)(4) 視聴覚資料：専門学校購入資料が増えたこと及び大学購入資料のセットを分割表示としたため(3)(4) 令和5年4月 図書：寄贈図書資料増加のため(5) 雑誌・視聴覚資料：外国書(電子ジャーナル)及び視聴覚資料の充実のため(5) 機械・器具：葵会柏看護専門学校廃止により専門学校備品の追加及び教育の充実のため追加（5） 令和6年4月 図書資料、雑誌、視聴覚資料：外国書(電子ジャーナル)、視聴覚資料及び教育研究機器備品を追加し教育の充実を図るため(6)
	国際看護学部	5,526〔159〕 ~~5,030〔148〕~~ ~~4,223〔137〕~~ ~~4,174~~〔137〕 ~~3,903~~〔137〕 (5,526〔159〕) (~~5,030〔148〕~~) (~~4,223〔137〕~~) (~~4,174~~〔137〕) (~~3,903~~〔137〕)	31〔7〕 ~~30〔6〕~~ (31〔7〕) (~~30〔6〕~~)	7〔7〕 ~~6〔6〕~~ (7〔7〕) (~~6〔6〕~~)	149 ~~147~~ ~~143~~ ~~137~~ ~~112~~ (149) (~~147~~) (~~143~~) (~~137~~) (~~112~~)	7,810 ~~7,800~~ ~~5,629~~ (7,810) (~~7,800~~) (~~5,629~~)	20 (20)	
	計	5,526〔159〕 ~~5,030〔148〕~~ ~~4,223〔137〕~~ ~~4,174~~〔137〕 ~~3,903~~〔137〕 (5,526〔159〕) (~~5,030〔148〕~~) (~~4,223〔137〕~~) (~~4,174~~〔137〕) (~~3,903~~〔137〕)	31〔7〕 ~~30〔6〕~~ (31〔7〕) (~~30〔6〕~~)	7〔7〕 ~~6〔6〕~~ (7〔7〕) (~~6〔6〕~~)	149 ~~147~~ ~~143~~ ~~137~~ ~~112~~ (149) (~~147~~) (~~143~~) (~~137~~) (~~112~~)	7,810 ~~7,800~~ ~~5,629~~ (7,810) (~~7,800~~) (~~5,629~~)	20 (20)	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	柏キャンパス
	609.71㎡	125	14,350	

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	柏キャンパス
	577.13㎡	該当なし	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要		区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	令和3年4月 研究費増額のため(3) 令和6年4月 図書資料、雑誌、視聴覚資料：外国書(電子ジャーナル)、視聴覚資料及び教育研究機器備品を追加し教育の充実を図るため(6)
	経費の見積り	教員１人当り研究費等	150千円 ~~100千円~~	150千円 ~~100千円~~	図書購入費	8,420千円	0千円 ~~126千円~~ ~~0千円~~	5,400千円 ~~0千円~~	
		共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	131,623千円	0千円	2,500千円 ~~0千円~~	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	0千円	0千円

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、私立大学等経常費補助金　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	医療創生大学	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学部	6	60	－	450	－	0.59	－	－	平成19	－	
薬学科	6	60	－	450	学士 （薬学）	**0.59**	－	－	平成19	福島県いわき市中央台飯野5-5-1	令和4年度から入学定員変更（90→60）
看護学部	4	80	－	320	－	0.65	－	－	平成29	－	
看護学科	4	80	－	320	学士 （看護学）	**0.65**	－	－	平成29	福島県いわき市中央台飯野5-5-1	
健康医療科学部	4	100	－	400	－	0.78	－	－	平成31	－	
作業療法学科	4	40	－	160	学士 （作業療法学）	**0.55**	－	－	平成31	福島県いわき市中央台飯野5-5-1	
理学療法学科	4	60	－	240	学士 （理学療法学）	0.93	－	－	平成31	福島県いわき市中央台飯野5-5-1	
心理学部	4	60	－	240	－	0.70	－	－	令和2	－	
臨床心理学科	4	60	－	240	学士 （心理学）	**0.70**	－	－	令和2	福島県いわき市中央台飯野5-5-1	
国際看護学部	4	80	－	320	－	0.93	－	－	令和3	－	
看護学科	4	80	－	320	学士 （看護学）	0.93	－	－	令和3	千葉県柏市小青田1-3-4	
大学全体	－	380	－	1,730	－	0.73	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教員組織の状況

＜国際看護学部　看護学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	川口　孝泰 （65） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	フレッシャーズセミナー コンピュータリテラシー 統計のしくみ 情報演習 医療統計学演習 看護学原論 健康教育と看護倫理 看護研究の基礎 遠隔看護と看護情報 看護学総合講義
専	教授	山崎　洋次 （73） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 生命の科学 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 看護学総合講義
専	教授	スーディ　神﨑　和代 （69） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 在宅看護学概論 在宅看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	橋野　恭子 （68） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護活動/援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	レンデンマン　美智子 （69） ＜令和３年４月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science（米国）	フレッシャーズセミナー 小児看護学概論 小児看護活動/援助論 小児看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	吉岡　洋治 （66） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 在宅看護学実習 看護学総合講義

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	川口　孝泰 （65） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	フレッシャーズセミナー コンピュータリテラシー 統計のしくみ 情報演習 医療統計学演習 看護学原論 健康教育と看護倫理 看護研究の基礎 遠隔看護と看護情報 看護学総合講義
専	教授	山崎　洋次 （73） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 生命の科学 人体の構造と機能Ⅳ 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 看護学総合講義
専	教授	スーディ　神﨑　和代 （69） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 在宅看護学概論 在宅看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	橋野　恭子 （68） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護活動/援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	レンデンマン　美智子 （69） ＜令和３年４月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science（米国）	フレッシャーズセミナー 小児看護学概論 小児看護活動/援助論 小児看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	吉岡　洋治 （66） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 在宅看護学実習 看護学総合講義

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	川口　孝泰 （66） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	フレッシャーズセミナー コンピュータリテラシー 統計のしくみ 情報演習 公衆衛生学 医療統計学演習 地域における健康増進 看護学原論 健康教育と看護倫理 看護研究の基礎 遠隔看護と看護情報 看護学総合講義
専	教授	山崎　洋次 （74） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 生命の科学 人体の構造と機能Ⅳ 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 看護学総合講義
専	教授	スーディ　神﨑　和代 （70） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域・在宅看護学概論 医療英語 国際看護学 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 在宅看護学概論 在宅看護学実習 医療英語 国際看護学 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	橋野　恭子 （69） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 母性看護活動/援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	レンデンマン　美智子 （70） ＜令和３年４月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science（米国）	フレッシャーズセミナー 看護と人間関係 小児看護学概論 小児看護活動／援助論 小児看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

【令和５年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	川口　孝泰 （67） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	フレッシャーズセミナー コンピュータリテラシー 統計のしくみ 情報演習 公衆衛生学 医療統計学演習 地域における健康増進 看護学原論 健康教育と看護倫理 地域を学ぶ 看護研究の基礎 遠隔看護と看護情報 看護学総合講義
			フレッシャーズセミナー コンピュータリテラシー 統計のしくみ 情報演習 公衆衛生学 医療統計学演習 地域における健康増進 看護学原論 健康教育と看護倫理 看護研究の基礎 遠隔看護と看護情報 看護学総合講義
専	教授	山崎　洋次 （75） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 生命の科学 人体の構造と機能Ⅳ 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 看護学総合講義
専	教授	スーディ　神﨑　和代 （71） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護学実習 医療英語 国際看護学 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 在宅看護学概論 在宅看護学実習 医療英語 国際看護学 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	橋野　恭子 （70） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 母性看護活動／援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	レンデンマン　美智子 （71） ＜令和３年４月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science（米国）	フレッシャーズセミナー 看護と人間関係 小児看護学概論 小児看護活動／援助論 小児看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	川口　孝泰 （68） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	フレッシャーズセミナー コンピュータリテラシー 統計のしくみ 情報演習 公衆衛生学 医療統計学演習 地域における健康増進 看護学原論 健康教育と看護倫理 地域を学ぶ 看護研究の基礎 遠隔看護と看護情報 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT
専	教授	山崎　洋次 （76） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 生命の科学 人体の構造と機能Ⅳ 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 小児看護学概論 看護学総合講義
専	教授	スーディ　神﨑　和代 （72） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	~~フレッシャーズセミナー~~ 公衆衛生学 健康教育と看護倫理 地域における健康増進 地域・在宅看護学概論 地域を学ぶ 地域・在宅看護学実習 医療英語 国際看護学 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			~~フレッシャーズセミナー~~ 公衆衛生学 健康教育と看護倫理 地域における健康増進 在宅看護学概論 在宅看護学実習 医療英語 国際看護学 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	橋野　恭子 （71） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ ~~母性看護活動／援助論~~ ~~母性看護学演習~~ ~~母性看護学実習~~ 看護マネージメント 看護学総合講義 ~~応用看護演習OSCE/IBT~~ 看護学統合実習
専	教授	レンデンマン　美智子 （72） ＜令和３年４月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science（米国）	フレッシャーズセミナー 看護と人間関係 小児看護学概論 小児看護活動／援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 医療英語 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	楊箸　隆哉 （67） ＜令和５年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法 看護研究の基礎 看護学総合講義
兼担	教授	楊箸　隆哉 （65） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法
専	教授	福島　統 （65） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 看護学総合講義
専	教授	天谷　真奈美 （59） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 精神看護学概論 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	古谷　佳由理 （57） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 小児看護学概論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	中村　摩紀 （54） ＜令和５年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 看護とリハビリテーション 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
兼任	教授	中村　摩紀 （54） ＜令和３年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 老年看護学概論
専	教授	前田　隆子 （53） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	楊箸　隆哉 （67） ＜令和５年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法 看護研究の基礎 看護学総合講義
兼担	教授	楊箸　隆哉 （65） ＜令和３年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法
専	教授	佐藤　元 （60） ＜令和３年４月＞ 医学博士	人体の構造と機能Ⅱ 薬物と薬物療法 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅲ 医療統計学演習 看護学総合講義
専	教授	天谷　真奈美 （59） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 精神看護学概論 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	古谷　佳由理 （57） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 小児看護学概論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	中村　摩紀 （54） ＜令和５年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 看護とリハビリテーション 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
兼任	教授	中村　摩紀 （54） ＜令和３年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 老年看護学概論
専	教授	前田　隆子 （53） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	楊箸　隆哉 （67） ＜令和５年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法 看護研究の基礎 看護学総合講義
専	教授	佐藤　元 （61） ＜令和３年４月＞ 医学博士	人体の構造と機能Ⅱ 薬物と薬物療法 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅲ 医療統計学演習 看護学総合講義
専	教授	天谷　真奈美 （60） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 精神看護学概論 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	古谷　佳由理 （58） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 看護と人間関係 小児看護学概論 小児看護活動／援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	中村　摩紀 （55） ＜令和４年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 看護とリハビリテーション 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	前田　隆子 （54） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	楊箸　隆哉 （67） ＜令和５年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法 看護研究の基礎 看護学総合講義
専	教授	佐藤　元 （62） ＜令和３年４月＞ 医学博士	人体の構造と機能Ⅱ 薬物と薬物療法 疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅲ 医療統計学演習 看護学総合講義
専	教授	天谷　真奈美 （61） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	古谷　佳由理 （59） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 看護と人間関係 フィジカルアセスメント 小児看護学概論 小児看護活動／援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	中村　摩紀 （56） ＜令和４年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 看護とリハビリテーション 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	前田　隆子 （55） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	楊箸　隆哉 （68） ＜令和５年４月＞ 医学博士	フレッシャーズセミナー 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 人体の構造と機能Ⅳ こころとからだの探求 薬物と薬物療法 看護研究の基礎 看護学総合講義
専	教授	天谷　真奈美 （62） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	中村　摩紀 （57） ＜令和４年４月＞ 看護学修士	フレッシャーズセミナー 健康教育と看護倫理 老年看護学概論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 看護とリハビリテーション 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	前田　隆子 （56） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅰ（急性期） 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 チーム医療と医療安全 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	瀬戸　愛子 （52） ＜令和４年４月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー 母性看護学概論 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
兼担	講師	瀬戸　愛子 （51） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー
専	教授	葛西　好美 （49） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 地域看護と地域包括ケアシステム 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	日向野　香織 （40） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	杉本　敬子 （55） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	国際看護学 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	橋本　友美 （45） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学概論 精神看護活動/援助論 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	瀬戸　愛子 （51） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー 母性看護学概論 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	葛西　好美 （49） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 地域看護と地域包括ケアシステム 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	日向野　香織 （40） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	杉本　敬子 （55） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	国際看護学 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	橋本　友美 （45） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学概論 精神看護活動/援助論 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	瀬戸　愛子 （52） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー 母性看護学概論 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	葛西　好美 （50） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域看護と地域包括ケアシステム 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域看護と地域包括ケアシステム 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	日向野　香織 （41） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	橋本　友美 （46） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	地域を学ぶ 精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	瀬戸　愛子 （53） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー フィジカルアセスメント 母性看護学概論 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	葛西　好美 （51） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 地域看護と地域包括ケアシステム 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 地域看護と地域包括ケアシステム 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	日向野　香織 （42） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	橋本　友美 （47） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	地域を学ぶ 精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	瀬戸　愛子 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー 健康教育と看護倫理 フィジカルアセスメント 母性看護学概論 母性看護活動/援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	葛西　好美 （52） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 地域看護と地域包括ケアシステム 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域を学ぶ 地域・在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 公衆衛生学 地域における健康増進 地域看護と地域包括ケアシステム 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	日向野　香織 （43） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 成人看護学概論Ⅱ（慢性期） 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護の統合と実践 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	教授	杉本　敬子 （58） ＜令和６年４月＞ Ph.D. in Nursing （米国）	フレッシャーズセミナー 母性看護学概論 母性看護活動／援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学総合講義 看護学統合実習
専	准教授	橋本　友美 （48） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	フレッシャーズセミナー 健康教育と看護倫理 地域を学ぶ 精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			フレッシャーズセミナー 健康教育と看護倫理 精神看護学概論 精神看護活動／援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高橋　道明 （41） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	小澤　典子 （36） ＜令和３年４月＞ 博士（看護科学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護活動/援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	飯倉　充美 （36） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	看護と人間関係 看護の基礎技術 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	高田　大輔 （36） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動/援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　嘉章 （34） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	木村　奈緒 （32） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動/援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高橋　道明 （41） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	**コンピュータリテラシー** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授		
専	准教授	飯倉　充美 （36） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	看護と人間関係 看護の基礎技術 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	高田　大輔 （36） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動/援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　嘉章 （34） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	**コンピュータリテラシー** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	木村　奈緒 （33） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動/援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高橋　道明 （42） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	**コンピュータリテラシー** **地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 **成人看護学実習（外来／地域・多職種）** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授		**コンピュータリテラシー** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	飯倉　充美 （37） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	看護と人間関係 看護の基礎技術 **基礎看護技術Ⅰ** フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	高田　大輔 （37） ＜令和３年４月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	**看護と人間関係** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ **地域を学ぶ** 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			看護と人間関係 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　嘉章 （35） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	**コンピュータリテラシー** **地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 **成人看護学実習（外来／地域・多職種）** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			コンピュータリテラシー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	木村　奈緒 （34） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	**地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高橋　道明 （43） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	**コンピュータリテラシー** **地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 **成人看護学実習（外来／地域・多職種）** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			コンピュータリテラシー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	飯倉　充美 （38） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	看護と人間関係 看護の基礎技術 **基礎看護技術Ⅰ** **基礎看護技術Ⅱ** フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　嘉章 （36） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	**コンピュータリテラシー** **地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 **成人看護学実習（外来／地域・多職種）** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			コンピュータリテラシー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	木村　奈緒 （35） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	**地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 **老年看護学実習Ⅰ** 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 **老年看護学実習Ⅰ** 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	飯倉　充美 （39） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	**健康教育と看護倫理** 看護と人間関係 看護の基礎技術 **基礎看護技術Ⅰ** **基礎看護技術Ⅱ** フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ **小児看護学演習** 看護マネージメント **看護学総合講義** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　嘉章 （37） ＜令和３年４月＞ 修士（看護科学）	**コンピュータリテラシー** **地域を学ぶ** ~~**基礎看護学実習Ⅰ**~~ ~~**基礎看護学実習Ⅱ**~~ 成人急性期の看護方法 **成人慢性期の看護方法** 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 **成人看護学実習Ⅱ【慢性期】** **成人看護学実習（外来／地域・多職種）** **看護学総合講義** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			コンピュータリテラシー ~~**基礎看護学実習Ⅰ**~~ ~~**基礎看護学実習Ⅱ**~~ 成人急性期の看護方法 **成人慢性期の看護方法** 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 **成人看護学実習Ⅱ【慢性期】** **看護学総合講義** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	木村　奈緒 （36） ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）	**地域を学ぶ** 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 **老年看護学実習Ⅰ** 老年看護学実習Ⅱ **看護学総合講義** 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岩原　由香 （56） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	寒河江　優美子 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（医科学）	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	鈴木　由紀子 （49） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岩原　由香 （56） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	寒河江　優美子 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（医科学）	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	鈴木　由紀子 （49） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	齋藤　佑見子 （42） ＜令和４年９月＞ 修士（看護科学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護活動/援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護活動/援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	岩原　由香 （57） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	寒河江　優美子 （55） ＜令和３年４月＞ 修士（医科学）	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	齋藤　佑見子 （43） ＜令和４年９月＞ 修士（看護科学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護活動/援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護活動/援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　靖代 （46） ＜令和５年９月＞ 博士（保健学）	健康教育と看護倫理 基礎看護技術Ⅰ フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	講師	岩原　由香 （58） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	軽部　由有子 （50） ＜令和５年４月＞ 修士（看護学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	吽野　智哉 （36） ＜令和５年９月＞ 修士（看護学）	老年看護活動/援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	齋藤　佑見子 （44） ＜令和４年９月＞ 博士（看護科学）	健康教育と看護倫理 看護と人間関係 フィジカルアセスメント 地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論 小児看護活動/援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	准教授	伊藤　靖代 （46） ＜令和５年９月＞ 博士（保健学）	フレッシャーズセミナー 看護と人間関係 看護の基礎技術 フィジカルアセスメント 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	岩原　由香 （59） ＜令和３年４月＞ 博士（看護学）	地域における健康増進 地域を学ぶ ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			地域における健康増進 ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	軽部　由有子 （51） ＜令和５年４月＞ 修士（看護学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	講師	吽野　智哉 （36） ＜令和５年９月＞ 修士（看護学）	フレッシャーズセミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護活動／援助論 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	嶌　ひかり （52） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	佐藤　鳳玲 （49） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	中国語1 中国語2 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	柴田　和宏 （48） ＜令和３年４月＞ 修士（健康科学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	嶌　ひかり （52） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	佐藤　鳳玲 （49） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	中国語1 中国語2 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	柴田　和宏 （48） ＜令和３年４月＞ 修士（健康科学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	嶌　ひかり （53） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	佐藤　鳳玲 （50） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	中国語1 中国語2 看護の基礎技術 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	柴田　和宏 （49） ＜令和３年４月＞ 修士（健康科学）	地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護活動/援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	土谷　ちひろ （36） ＜令和４年６月＞ 博士（地域研究）	
専	助教		国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	佐藤　鳳玲 （51） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	中国語1 中国語2 看護の基礎技術 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ ~~フィジカルアセスメント~~ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 英語診療演習 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	土谷　ちひろ （37） ＜令和４年６月＞ 博士（地域研究）	
専	助教		国際看護学 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	飯塚　美佐子 （49） ＜令和５年４月＞ 修士（看護学）	
専	助教		地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	半田　朋香 （49） ＜令和５年４月＞ 修士（医療保健学）	
専	助教		地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	愛川　由美子 （64） ＜令和６年４月＞ 修士（看護学）	
専	講師		精神看護学概論 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	佐藤　鳳玲 （52） ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	中国語1 中国語2 ~~看護の基礎技術~~ ~~基礎看護技術Ⅰ~~ ~~基礎看護技術Ⅱ~~ ~~フィジカルアセスメント~~ ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ ~~英語診療演習~~ 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ ~~看護学総合講義~~ 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	土谷　ちひろ （38） ＜令和４年６月＞ 博士（地域研究）	
専	助教		地域における健康増進 地域を学ぶ 国際看護学 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 英語診療演習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			地域における健康増進 国際看護学 国際看護実習Ⅰ 国際看護実習Ⅱ 英語診療演習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	飯塚　美佐子 （50） ＜令和５年４月＞ 修士（看護学）	
専	助教		フレッシャーズセミナー 地域を学ぶ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護マネージメント 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	半田　朋香 （50） ＜令和５年４月＞ 修士（医療保健学）	
専	助教		地域を学ぶ ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 地域・在宅看護活動／援助論 地域・在宅看護学演習 地域・在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 在宅看護活動/援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小池　久恵 （62） ＜令和３年４月＞ 文学修士※	日本語リテラシー 英語A1 英語A2 英語B1 英語B2 英語C1 英語C2
兼担	教授	梅村　一之 （62） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	自然科学のあゆみ
兼担	教授	ティモシー　クック （62） ＜令和３年４月＞ Ph.D. in Communication Studies（米国）	英語A1 英語A2 英語C1 英語C2
兼担	教授	五十嵐　幸一 （52） ＜令和３年４月＞ 体育学修士	健康の科学 健康・スポーツ1 健康・スポーツ2
兼担	教授	久呉　高之 （67） ＜令和３年４月＞ 文学修士※	日本語リテラシー 哲学の世界 倫理学の世界
兼担	教授	菅野　昌史 （52） ＜令和３年４月＞ 法学修士※	法学入門 社会学入門
兼担	助教	金　世煥 （53） ＜令和４年４月＞ 博士（商学）	韓国語1 韓国語2
兼担	准教授	高島　翠 （42） ＜令和３年４月＞ 博士（心理学）	心理学概論
兼担	助教	佐々木　充直 （63） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	健康福祉社会とグローバル化
兼任	講師	野村　光義 （52） ＜令和３年９月＞ 修士（学術）※	世界の歴史と文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　一之 （62） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	自然科学のあゆみ
兼担	教授	久呉　高之 （67） ＜令和３年４月＞ 文学修士※	哲学の世界 倫理学の世界
兼担	教授	菅野　昌史 （52） ＜令和３年４月＞ 法学修士※	法学入門 社会学入門
		金　世煥 （53） ＜令和４年４月＞ 博士（商学）	韓国語1 韓国語2
兼担	助教	佐々木　充直 （63） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	健康福祉社会とグローバル化
兼任	講師	野村　光義 （52） ＜令和３年９月＞ 修士（学術）※	世界の歴史と文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　一之 （63） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	自然科学のあゆみ
兼任	講師	久呉　高之 （68） ＜令和３年４月＞ 文学修士※	哲学の世界 倫理学の世界
兼担	助教	佐々木　充直 （64） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	健康福祉社会とグローバル化
兼任	講師	野村　光義 （53） ＜令和３年９月＞ 修士（学術）※	世界の歴史と文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　一之 （64） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	自然科学のあゆみ
兼任	講師	久呉　高之 （69） ＜令和３年４月＞ 文学修士※	哲学の世界 倫理学の世界
兼担	助教	佐々木　充直 （65） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	健康福祉社会とグローバル化
兼任	講師	野村　光義 （54） ＜令和３年９月＞ 修士（学術）※	日本語リテラシー 哲学の世界 倫理学の世界 世界の歴史と文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	刈谷　奈緒子 （50） ＜令和６年４月＞ 修士（看護学）	成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 成人看護学実習（外来／地域・多職種） 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
			成人急性期の看護方法 成人慢性期の看護方法 成人看護学実習Ⅰ【急性期】 成人看護学実習Ⅱ【慢性期】 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
専	助教	松原　由佳 （38） ＜令和６年４月＞ 修士（看護科学）	健康教育と看護倫理 看護と人間関係 看護の基礎技術 フィジカルアセスメント 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学演習 看護学総合講義 応用看護演習OSCE/IBT 看護学統合実習
兼担	教授	梅村　一之 （65） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	自然科学のあゆみ
兼任	講師	佐々木　充直 （66） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	健康福祉社会とグローバル化
兼任	講師	野村　光義 （55） ＜令和３年９月＞ 修士（学術）※	日本語リテラシー 哲学の世界 倫理学の世界 世界の歴史と文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松本　麻子 （51） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	日本語リテラシー
兼任	講師	鈴木　秀生 （45） ＜令和３年４月＞ 学士（体育学）	健康の科学 健康・スポーツ1 健康・スポーツ2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和３年度】

・吉岡洋治教授の就任が令和３年４月より令和３年９月に変更。
・福島統教授就任辞退により、佐藤元教授に変更。教員審査省略。
・中村摩紀教授の就任が令和５年４月より令和４年４月に変更し、令和３年４月の兼任教員就任は辞退。
・小澤典子准教授就任辞退、後任未定であるが、令和３年１０月から専任教員採用予定で公募中。「基礎看護学実習Ⅰ」は共同担当教員がいるため支障なく、その他の科目については令和４年度以降の科目となる。
・瀬戸愛子教授の就任が令和４年４月より令和３年４月に変更。この変更により兼担の科目は専任の科目に変更。
・兼担の久呉高之教授担当科目の内、日本語リテラシーは兼任講師の武田雅史先生に変更。
・兼担の小池久恵教授担当科目の内、日本語リテラシーは兼任講師の武田雅史先生に変更し、英語A1・英語A2・英語B1・英語B2・英語C1・英語C3は兼任講師の坂本仁奈先生に変更。
・兼担のティモシー　クック教授就任辞退により、坂本仁奈兼任講師に変更。
・兼担の五十嵐幸一教授就任辞退により、鈴木秀生兼任講師が担当。
・兼担の高島翠准教授就任辞退により、浮谷秀一兼任講師に変更。
・松本麻子兼任講師就任辞退により、武田雅史兼任講師に変更。
・杉本敬子准教授の辞任により、後任未定であるが、専任教員採用予定で公募中。
・坂本仁奈兼任講師辞任により、長澤里絵兼任講師、滝井寛兼任講師に変更。

【令和４年度】

・吉岡洋治教授就任辞退、後任未定であるが、専任教員採用予定で公募中。
・金世煥兼担講師の辞任により、韓国語1・韓国語2は高昌弘兼任講師へ変更。
・鈴木秀生兼任講師の辞任により、健康の科学・健康・スポーツ1・健康・スポーツ2は小坂仁兼任講師へ変更。
・長澤里絵兼任講師の辞任により、英語A1・英語A2・英語B1・英語B2・英語C1・英語C3は矢倉眞一兼任講師へ変更。
・鈴木由紀子講師の辞任により、後任未定であるが、専任教員採用予定で公募中。
・杉本敬子准教授の後任として令和４年６月より土谷ちひろ助教に変更。
・小澤典子准教授の後任として令和４年９月より齋藤佑見子准教授に変更。
・菅野昌史兼担教授の辞任により、法学入門は柴野荘一兼任講師へ、社会学入門は福島智子兼任講師へ変更。
・吉岡洋治教授就任辞退により担当科目の内、公衆衛生学は山口忍兼任講師、小稲文兼任講師、栗田順子兼任講師へ一部変更。

【令和５年度】

・楊箸隆哉兼担教授が令和５年４月より専任教授就任により、兼担の科目は専任の科目に変更。
・吉岡洋治教授の後任として令和５年４月より半田朋香助教に変更。
・鈴木由紀子講師の後任として令和５年４月より軽部由有子講師に変更。
・嶌ひかり助教の辞任により、後任として令和５年４月より飯塚美佐子助教に変更。
・高田大輔准教授の辞任により、後任として令和５年９月より吽野智哉講師に変更。
・寒河江優美子講師の辞任により、後任として令和５年９月より伊藤靖代准教授に変更。
・柴田和宏助教の辞任により、後任未定であるが、専任教員採用予定で公募中。
・久呉高之兼任講師担当科目の哲学の世界・倫理学の世界は野村光義兼任講師に変更。
・武田雅史兼任講師の辞任により、日本語リテラシーは野村直江兼任講師へ変更。
・小坂仁兼任講師の辞任により、健康の科学・健康・スポーツ1・健康・スポーツ2は阿久井陽輔兼任講師へ変更。
・福島智子兼任講師の辞任により、社会学入門は小倉敏彦兼任講師へ変更。
・吉岡洋治教授就任辞退により担当科目の内、公衆衛生学は山口忍兼任講師、小稲文兼任講師、栗田順子兼任講師へ一部変更したが兼任講師辞任により、公衆衛生学は水谷重憲兼任講師が担当。

【令和６年度】

・柴田和宏助教の後任として令和６年４月より愛川由美子講師に変更。
・佐藤元教授の辞任により担当科目を山崎洋次教授、楊箸隆哉教授へ変更し令和６年４月より松原由佳助教が就任。
・古谷佳由理教授の辞任により、後任未定で専任教員採用予定で公募中であるが、担当科目の小児看護学概論のみ添田啓子兼任講師に変更。
・高橋道明准教授の辞任により、後任として令和６年４月より刈谷奈緒子助教に変更となり、担当科目のコンピュータリテラシーの兼任講師として就任。
・杉本敬子先生が留学から帰国により、国際看護学・母性看護学領域担当教授として就任。
・英語A1・英語A2・英語B1・英語B2・英語C1・英語C3を少人数制科目としてティモシークック兼任講師が就任。
・浮谷秀一兼任講師の辞任により、心理学概論は阿部真美子兼任講師へ変更。
・高昌弘兼任講師の辞任により、韓国語１・韓国語２は安鍾培兼任講師へ変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（注）・　計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・　大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・　高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
15 (13)	8 (7)	3 (3)	3 (3)	29 (26)	0 (0)	13	6	4	6	29	0
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
13 [△2]	6 [△2]	4 [1]	6 [3]	29 [0]	0 [0]	13 [△2]	6 [△2]	4 [1]	7 [4]	30 [1]	0 [0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	6 名	3 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{29}{29} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{6}{29} = 20.68\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C’）}}{\text{設置時の計画（A’）}} = \frac{0}{0} = -\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	福島　統	R3.1	必修	フレッシャーズセミナー	①	R3.1　現大学留任のため就任辞退（3）
				必修	人体の構造と機能Ⅰ	①	
				必修	人体の構造と機能Ⅱ	①	
				必修	看護学統合講義	①	
2	准教授	小澤　典子	R3.1	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	R3.1　私事都合のため就任辞退（3）
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	小児看護活動/援助論	①	
				必修	小児看護学演習	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	応用看護実習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
3	教授	吉岡　洋治	R3.3	必修	フレッシャーズセミナー	①	R3.3　病気療養のため就任時期を変更（3） R3.12　ご逝去のため就任辞退（4）
				必修	公衆衛生学	②	
				必修	地域における健康増進	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	看護学総合講義	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3　人	必修	16	科目	必修	15 科目	必修	1 科目	必修	0 科目		
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
	計	16	科目	計	15 科目	計	1 科目	計	0 科目		

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	杉本　敬子	R3.7	必修	国際看護学	①	R3.7　私事都合のため辞任（4） R6.4　留学から帰国により再就任（6）
				必修	国際看護実習Ⅰ	①	
				選択	国際看護実習Ⅱ	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
2	講師	鈴木　由紀子	R3.3	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	R4.3　私事都合のため辞任（4）
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	成人急性期の看護方法	①	
				必修	成人慢性期の看護方法	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	英語診療演習	①	
				必修	国際看護実習Ⅰ	①	
				選択	国際看護実習Ⅱ	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
3	准教授	高田　大輔	R5.1	必修	看護と人間関係	①	R5.3　私事都合のため辞任（5）
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	地域を学ぶ	①	
				必修	老年看護活動/援助論	①	
				必修	老年看護学演習	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
4	講師	寒河江　優美子	R5.3	必修	基礎看護技術Ⅰ	①	R5.3　私事都合のため辞任（5）
				必修	基礎看護技術Ⅱ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
5	助教	嶌　ひかり	R4.5	必修	地域を学ぶ	①	R4.8　私事都合のため辞任（5）
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	

6	助教	柴田　和宏	R5.3	必修	地域を学ぶ	①	R5.3　私事都合のため辞任（5）
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	精神看護活動/援助論	①	
				必修	精神看護学演習	①	
				必修	精神看護学実習	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
7	教授	佐藤　元	R5.6	必修	人体の構造と機能Ⅱ	①	R5.6　私事都合のため辞任（6）
				必修	疾病と治療Ⅰ	①	
				必修	疾病と治療Ⅲ	①	
				必修	看護学総合講義	①	
8	教授	古谷　佳由理	R6.1	必修	フレッシャーズセミナー	①	R6.3　私事都合のため辞任（6）
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	小児看護学概論	①	
				必修	小児看護学演習	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	看護学総合講義	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	
9	准教授	高橋　道明	R5.9	必修	コンピュータリテラシー	①	R6.3　私事都合のため辞任（6）
				必修	地域を学ぶ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	成人慢性期の看護方法	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	成人看護学実習（外来/地域・多職種）	①	
				必修	応用看護演習OSCE/IBT	①	
				必修	看護学統合実習	①	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
9　人	必修	65	科目	必修	65 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2	科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	67	科目	計	67 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
12　人	必修	81	科目	必修	80 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	2	科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	83	科目	計	82 科目	計	1 科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{11}{29} = 37.93\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和５年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・　令和６年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）ー⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任予定における未就任教員は3名である。（3）①-1の教員は、所属大学から留任要請があり就任が困難となった。学部開設前であったために同等科目を担当できる教員人事を早急に進め、同等教員を配置でき、現在、問題なく教育は遂行できている。（3）①-2の教員は開設年度から就任予定であったが、私事都合により担当科目開始年度まで就任を延期した。しかし、就任時期について折り合いがつかず、就任辞退となった。その後、担当できる教員補充を行い現時点では問題なく教育は進められている。（3）①-3の教員は、開学年度から就任予定であったが就任直前に病気による療養に入ったので就任時期を延ばして対応したが、就任前に逝去し就任辞退となった。担当科目については直ぐに後任人事を進めた。その間、担当科目の一部については兼任講師で対応した。現時点では科目を担当する教員を確保できたため、問題なく教育は進められている。これら3名の教員の学生への周知については、前期・後期のガイダンス時に教員の移動について十分な説明をしており、大きな問題は起きていない。
就任後に退職となった教員は6名である。（3）②-1の教員は開設年度に就任したが、開設年度に米国の大学からの研究員要請があり自身のキャリア形成を優先し辞任した。直ぐに後任人事を行い、同等の人材が確保され、教育は問題なく遂行できている。（3）②-2の教員は開設初年度で辞任した。理由は一身上の都合である。家庭の事情が主な要因とされる。後任人事を早急に進め後任者が配置されている。
（3）②-3の教員は、開設2年後の辞任で、理由は家庭の事情である。当該人事は現在公募中で、早急の補充を目指している。（3）②-4も開設2年後に辞職に至った。辞任の理由は、高齢家族のケアのためである。この人事も早急に後任者を補充するため公募を開始している。
（3）②-5および6の2名は、大学教育職から自身のキャリアを実務者として伸ばして行きたいという意思が強く、開設2年目での辞任となった。後任者については2名が確保され、すでに赴任している。（3）②-7の教員は、開設年度から管理職として赴任したが私事都合により辞職した。幸い看護基礎領域の２名の教員でカバーできる科目であったために教育面で乗り越えることが出来ている。（3）②-8の教員は、小児領域の教授であった。ご家庭の事情が主な要因となって辞任に至った。（3）②-9の教員は、自身の新たなキャリアップを目指して大学教育のみではなく、臨床での実務も含む業務形態を実現するため、臨床で看護キャリアを積みながらも本学の非常勤として大学教育の継続を含む形での辞任となった。以上の9名の辞任による学生への影響は、今のところ大きな問題は生じていない。影響があるとすれば辞任教員がチュータであった学生への影響である。今後においても、それらの担当学生への説明と理解は重要なので、年度当初のガイダンス時に、辞任教員への理解と、その代わりとなる新任教員の周知を実施している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

国際看護学部　看護学科

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和２年）	1.薬学部薬学科の定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	令和3年度の募集活動においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部募集活動が制限されたが、動画の配信やSNS、ダイレクトメールの送付等を実施し、入学者数は61人（入学定員充足率0.67）となった。 今後の18歳人口の推移や全国的な薬学部の志願動向予測、及び本学薬学部への入学状況等に鑑み、定員規模の適正化を図るため、令和4年度より入学定員を60人とするため、令和3年4月20日に大学の収容定員に係る学則変更の届出をした。 （3） 令和4年度より、今後の18歳人口の推移や全国的な薬学部の志願動向予測、及び本学薬学部への入学状況等に鑑み、定員規模の適正化を図るため、入学定員を90人から60人に変更した。 募集活動においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初計画していた対面による広報活動が制限されたため、本学ホームページやWEBオープンキャンパスによる情報提供、ダイレクトメールの送付や動画の公開等を実施し、学科の内容理解を図ったが、令和4年4月1日現在の入学定員充足率は68.3%に留まった。 （4） 令和5年度入学者向けの広報は、①認知、②接触、③来校、④出願、⑤合格、⑥入学の段階ごとに広報活動を実施した。 「①認知」においては、新聞社への投稿10回（記事掲載10回）、寄稿（6回）、SNS（Twitterフォロワー651人（昨年度562人）、Instagramフォロワー320人（昨年度232人））、高校訪問（延べ921校（昨年度：832校）を実施し本学としての認知拡大を図った。「②接触」では会場ガイダンスや高校内ガイダンス、出前講座を実施し、「③来校」の増加を図った。薬学科の3年生の参加者実数は、53人（昨年度78人）となり、「④出願」は118人（昨年度129人）、「⑤合格」は109人（昨年度110人）となり、「⑥入学」は38人（昨年度41人）となった。入学定員充足率は63.3%となり、昨年度の68.3%より減少した。 （5） 令和6年度入学者向けの広報は、①認知、②接触、③来校、④出願、⑤合格、⑥入学の段階ごとに広報活動を実施した。 「①認知」においては、新聞社への投稿12回（記事掲載7回）、寄稿（3回）、SNS（X（旧Twitter）フォロワー692人（昨年度651人）、Instagramフォロワー467人（昨年度320人））、高校訪問（延べ1,362校（昨年度921校））を実施し本学としての認知拡大を図った。「②接触」では進学相談会（会場ガイダンス83回、接触者数565人（昨年度：59回、284人）、高校内ガイダンス134校、1,327人（昨年度：110校、361人））に参加した。また、出前講座26校（昨年度25校）を実施し、「③来校」の増加を図った。オープンキャンパスの参加者数は46人（昨年度53人）となり、「④出願」は89人（昨年度118人）、「⑤合格」は79人（昨年度109人）となり、「⑥入学」は28人（昨年度38人）となった。入学定員充足率は46.6%となり、昨年度の63.3%より減少した。 （6）	履行中	WEBオープンキャンパスの開催やSNS、WEBコンテンツの強化、遠隔システムを活用した個別相談の充実、ダイレクトメールによる情報発信を実施する。 また、高校訪問やガイダンス、説明会の実施に加え、長期的な学生確保の観点から市内の中学校でも早期から大学理解を含めた職業理解を図れるよう取り組んでいく。 （3） 学長の諮問委員会である入試・広報委員会等において、継続して広報施策を検討する。 具体的には、偏差値の他にストレート合格率を進路選択の指標としている受験生がいることを踏まえ、教育内容や学問としての薬学の魅力を伝えること、他大学との違いを明確化し、本学の特色を広報することで学生確保を図る。 （4） 薬学部薬学科においては、依然として総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試における志願者が少ないため、これらの入試で志願者増加を図らなければならないと考えている。 また、偏差値の他に国家試験のストレート合格率や留年率を進路選択の指標としている高校や受験生がいることを踏まえ、ストレート合格率と留年率等についても丁寧に説明し、学生一人ひとりの学修状況を把握し、適正な判断基準に則り、責任をもって教育していることの理解を得て、ネガティブなイメージを払拭する必要がある。 そのため、基礎科目の補強を他大学と比較して手厚く展開し、演習による知識の定着を図る教育内容、学問としての薬学の魅力を伝えること、並びに本学ならではの薬学部の特色を理解してもらえるよう、高校訪問やガイダンス、オープンキャンパス等の直接広報で積極的に周知する計画である。 さらに、今後の18歳人口の減少を見据え、長期的な観点で広報対象を高校だけに限らず、中学校や小学校に広げ、早期に薬学分野に興味・関心を抱かせ、進路選択の一つとする働きかけにより学生確保を図る。 （5） 薬学部薬学科においては、依然として総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試における志願者が少ないため、これらの入試で志願者増加を図らなければならないと考えている。 また、偏差値の他に国家試験のストレート合格率や留年率を進路選択の指標としている高校や受験生がいることを踏まえ、ストレート合格率と留年率等についても丁寧に説明し、学生一人ひとりの学修状況を把握し、適正な判断基準に則り、責任をもって教育していることの理解を得て、ネガティブなイメージを払拭する広報活動を継続しつつ、昨年度後半より実施した、薬学部薬学科の教員による高校訪問も年間を通し実施する。 さらに、長期的な観点で広報対象を高校だけに限らず、中学校や小学校に広げ、地元企業の主催するイベントや地元いわき市または近隣地域のイベント等にも積極的に参加することで、より広いステークホルダーとの接触機会を増やし、早期に薬学分野に興味・関心を抱かせ、進路選択の一つとする働きかけにより学生確保を図る。 なお、今後の18歳人口の推移や全国的な薬学部の志願動向予測、及び本学薬学部への入学状況等に鑑み、定員規模の適正化を図るため、令和7年度より入学定員を40人とするため、令和6年5月に大学の収容定員に係る学則変更の届出行う計画である。 （6）

認　可　時 （令和２年）	２.心理学部臨床心理学科の定員未充足の是正に努めること。		開設初年度は、入学者数34人（入学定員充足率56.6%）となった。 要因は、令和元年9月に学則変更の認可が得られたものの、高校では私立大学への推薦入試対象者選出会議が8月までに終了しており、本学部への進学を希望しいた受験生は、認可を待てずに他大学へ進路を変更した事例が多く、また、学生募集・広報活動が出遅れたこと、実施期間の不十分さが影響したと分析している。 さらに、外部からは「医療創生大学」という名称から「医療」に特化した学部構成であるという印象を持たれ、心理学部の存在を認知しにくいことが推測されたため、心理学部の認知度を高めるべく、学部情報や教員紹介動画、教員によるミニエッセイ等をSNSや大学HPを通して発信した。その結果、令和3年度の学生募集では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部募集活動が制限されたが、入学者数35人（入学定員充足率58.3%）となった。		学長の諮問委員会である入試・広報委員会、および学部内の入試広報委員会において、広報活動の充実・活性化について検討する。 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、教員による高校訪問や、来場型・WEBオープンキャンパスの開催、本学部の内容理解を目的としたダイレクトメールの送付や動画の作成、高校生の利用頻度の高いSNSを活用した情報発信等を計画している。 また、WEB上だけでなく、ポスターや名刺等の紙媒体での広報戦略についても検討する。 さらに、学費について見直し、学生の確保を図る計画である。
			（3） 開設初年度は、入学者数34人（入学定員充足率56.6%）、2年目は35人（入学定員充足率58.3%）と低い値で推移している。 教育内容の充実等を図るため、チューター制度による、日々の学修指導から個人的な悩み相談等の学生生活全般までをきめ細かに支援しつつ、少人数制の教育や学力向上対策、就職支援対策等を行っている。また、正課外ではあるが、資格取得や大学院進学に向けた勉強会を開催している。 「医療創生大学」という名称が「医療」に特化した大学であるという認識が強く持たれており、心理学部の存在を認知されにくいことから、WEBオープンキャンパス、資料請求者や高校宛のダイレクトメール、動画の公開等により学部周知のための広報活動を行った。 また、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、学費の見直しや奨学金制度を新設し、経済的支援策とあわせた広報活動を行ったが、令和4年4月1日現在の入学者は38人（入学定員充足率63.3%）に留まった。		（3） 学長の諮問委員会である入試・広報委員会等に置いて、継続して広報施策を検討する。 心理学部への入学者の動向をみると、福島県中通り地域における入学者が減少傾向にあるため、当該地域に対して広報活動を強化する。また、地元いわき市の認知度向上を図るため、本学の教育資源を活用した中学生、高校生、保護者を対象とした心理学に関する出前講座や出張講座を行い、学生の確保を図る。
		【認可】 助言事項	（4） 心理学部の入学者数は、初年度34人（入学定員充足率56.6%）、2年目35人（入学定員充足率58.3%）、3年目38人（入学定員充足率63.3%）と低い値で推移していたが、4年目48人（入学定員充足率80.0%）まで増加した。 心理学部では、日々の学修指導から個人的な悩み相談等の学生生活全般まで、教員がきめ細かに支援しながら学力向上対策等を行っている。また、正課外ではあるが、資格取得や大学院進学に向けた勉強会を開催し教育内容の充実等を図ってきた。 また、令和4年度には地元いわき市の企業と連携し、心理学に興味・関心を持たせるために商品袋のデザインの作成や、主に地元いわき市の方を対象とした講演会を実施し、理解を得る活動を行ってきた。今後も、教育内容の充実を図り、学生満足度を向上させるとともに、地元いわき市をはじめとした福島県内の地域を中心に本学の心理学部の特色の理解を得ることで、入学定員充足率の向上を図る計画である。	履行済	（4） 令和4年度に心理学部が実施してきた講演会、出前講座の実施、地元企業との連携による広報等を継続する。 また、令和5年度に卒業生を輩出するため、学生の満足度を向上させるよう学生サポート施策に注力し、各ステークホルダーに理解を得ながら学生確保を図る計画である。 なお、心理学部への入学者の動向をみると、福島県、茨城県、宮城県が主な募集地域となることから、当該地域に対して高校訪問等により学部の理解を得ていく。
			（5） 心理学部の入学者数は、初年度34人（入学定員充足率56.6%）、2年目35人（入学定員充足率58.3%）、3年目38人（入学定員充足率63.3%）、4年目48人（入学定員充足率80.0%）、5年目37人（入学定員充足率61.6%）の状況にあり、依然として、入学定員の充足には至っていない。 広報活動において、心理学を基礎から応用までバランスよく学ぶことができ、各分野を専門とする教員が揃っていることを丁寧に説明している。 また、地元いわき市の企業と連携し、心理学に興味・関心を持たせるために商品袋のデザインの作成を令和4年度より継続して行っている。 さらに、主に地元いわき市の方を対象とした講演会、及び教育機関や企業を対象とした出前講座を実施し、学問理解を得る広報活動を行ってきた。 今後も、地元いわき市をはじめとした福島県内の地域を中心に本学の心理学部の特色の理解を得ることで、入学定員充足率の向上を図る計画である。		（5） 令和5年度に心理学部が実施してきた講演会や出前講座の実施、地元企業との連携による広報等を継続する。対象は高校だけに限らず、中学校や小学校までを視野に入れ、早期に心理学分野への興味・関心を抱かせ、進路選択の1つとなるように働きかける。 また、令和5年度に完成年度を迎え、初めて卒業生を輩出したことから、進学・就職実績に鑑み、学生の満足度を向上させるよう学生サポート施策に注力し、各ステークホルダーに理解を得ながら学生確保を図る計画である。 本学心理学部への入学者の動向をみると、福島県、茨城県、山形県等が主な募集地域となることから、当該地域に対して高校訪問等により学部の理解を得ていく。 なお、今後の18歳人口の推移や全国的な心理学部の志願動向予測、及び本学心理学部への入学状況等に鑑み、定員規模の適正化を図るため、令和7年度より入学定員を40人とするため、令和6年5月に大学の収容定員に係る学則変更の届出行う計画である。
			（6）		（6）

設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和３年度）	該当なし				
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和４年度）	該当なし				
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和５度）	該当なし				
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和６年度）	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	心理学部では、チューター制を通して、日々の学修指導から個人的な悩み相談等の学生生活全般まで、教員がきめ細かに支援しながら学力向上対策等を行っている。 また、心理学部は「公認心理師」に対応したカリキュラムを編成しており、資格取得を目指せる大学院（人文学研究科臨床心理学専攻）を併設していることから、カウンセラーを目指す学生が学内進学できる体制と環境が整備されている。 なお、正課外ではあるが、資格取得や大学院進学に向けた勉強会を開催し、継続して教育内容の充実等を図ってきた。 今後も、チューター制による学修指導や学生生活全般の支援に努め、指導方法や教育内容の見直し・改善を通した教育内容の充実を図る。 また、学生満足度を向上させるとともに、地元いわき市をはじめとした福島県内の地域を中心に、心理学部の特色の理解を得ることで、入学定員充足率の向上を図る計画である。	履行中	今後も、心理学を基礎から応用までバランスよく学ぶことができ、各分野を専門とする教員が揃っていること等の本学心理学部の強みと特徴・特色を丁寧に説明する。 また、カウンセラーや資格取得を目指す受験生に対しては、資格取得に対応した大学院が併設され、学内進学できる体制と環境が整備されている事を丁寧に説明する。 さらに、資格取得や大学院進学に向けた勉強会を継続して開催し、教育内容の充実等を図る。 また、令和5年度に完成年度を迎え、初めて卒業生を輩出したことから、進学・就職実績に鑑み、学生の満足度を向上させるよう学生サポート施策に注力し、各ステークホルダーに理解を得ながら学生確保を図る計画である。 なお、今後の18歳人口の推移や全国的な心理学部の志願動向予測、及び本学心理学部への入学状況等に鑑み、定員規模の適正化を図るため、令和7年度より入学定員を40人とするため、令和6年5月に大学の収容定員に係る学則変更の届出行う計画である。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜国際看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ　委員会の設置状況

FD･SD委員会

FD・SD委員会細則

平成19年4月1日
制　　定

（趣旨）

第１条　この細則は、医療創生大学学則（昭和62年4月1日）第65条第2項及び医療創生大学大学院学則（平成4年4月1日）第10条の2に基づき設置された、FD・SD委員会（以下「委員会」という。）の運営について定めるものとする。

（審議事項）

第２条　委員会は、本学教員の教育研究活動及び職員の教育研究等支援における資質向上・能力開発に関する次の事項を審議する。

(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
(3) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
(4) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
(5) 授業評価の実施と結果に関する事項
(6) 職員のSDに関する事項
(7) その他FD・SDに関する事項

（委員会の構成及び任期）

第３条　委員会は次に掲げる者をもって組織する。

(1) 各学部を代表する教員
(2) 事務局を代表する職員
(3) その他学長が必要と認めた者

２　委員の人数は、学部長会の意見を聴いて学長が定める。
３　委員の任期は、学長が定める。

（委員長）

第４条　委員会に委員長を置く。
２　委員長は、学長が指名する。

（委員会の招集）

第５条　委員会は、委員長が招集し、主宰する。

（任務）

第６条　委員会は、審議の結果を学長に報告する。また、必要に応じて、教授会に報告する。

（雑則）

第７条　委員会は、必要と認める場合は、委員以外の出席を求め、意見を聴くことができる。また、学長が認めたときには、小委員会を設置することができる。

（事務）

第８条　委員会の事務は、教務学生課が当たる。

（雑則）
第９条　この細則に定めるもののほか必要な事項は、委員会の意見を聴き、学長が定める。
（改廃）
第１０条　この細則の改廃は、委員会の議を経て、学長が行う。
附　則
この細則は、平成19年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、平成22年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、平成26年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、平成27年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、平成29年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、平成30年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、平成31年4月1日から施行する。
附　則
この細則は、令和2年4月1日から施行する。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
年６回の委員会を実施した。委員は教員６名、担当事務２名で構成された。
令和５年度は第４回の委員会において教員１名の欠席があった。その他は全員が出席であった。

ｃ　委員会の審議事項等
(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
(3) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
(4) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
(5) 授業評価の実施と結果に関する事項
(6) 職員のSDに関する事項
(7) その他FD・SDに関する事項

② 実施状況
ａ　実施内容
・　授業改善アンケートについて
・　FD・SD研修会の実施計画・内容の検討
・　授業参観制度について

ｂ　実施方法
・FD・SD研修会の実施
委員会において企画立案し実施している。基本的な内容として、学外から講師を招聘し、講演を実施している。
・授業改善アンケートの実施
前期及び後期の授業終了時期に授業内容に関するアンケートを学生に対して実施している。
・授業参観制度の実施
教員相互による授業参観制度を導入しており、見直し・検討を行いながら、教育力の向上に努めている。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）
・FD・SD研修会の実施
全学FD・SD研修会（令和５年度：３回）
【全学FD研修会】第１回（令和５年８月）　：参加率　１００．０％
【全学SD研修会】第１回（令和５年６月）　：参加率　１００．０％
【全学SD研修会】第２回（令和５年１２月）：参加率　１００．０％
・授業改善アンケートの実施
前期：２６７科目（アンケート実施科目数）
国際看護学部でのアンケート実施科目数４２科目
後期：２３３科目（アンケート実施科目数）
国際看護学部でのアンケート実施科目数２７科目

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・令和５年度の全学FD研修会は「成績評価の目的・意義、ルーブリック評価表を用いた評価についての基本的な考え方を理解し、ルーブリック評価表作成の基本を身につける。また、ルーブリック活用の意義や種類、活用のタイミングなどの知識を得る。」ことを目的とし、「学修成果の把握と可視化～ルーブリック作成と活用方法」をテーマとして、外部講師を招いて教員が能動的に学習する形で実施した。実施後のアンケートでは、多くの教員が研修目的を「達成できた」と回答しており、何らかの形で各自の授業改善のための礎になるであろうことが確認された。

・また、令和５年度のSD研修会は、教職員全員がより密度の濃い研修をできるようにするため、年間通して２回実施した。１回目の研修会は「本学における人材育成の目標・方針に沿って、大学の管理運営 に関する理解を深めるために、経営状況について把握する。」を目的として、大学の経営状況を理解する研修を実施した。実施後のアンケートからは「SD研修を通して、教職員が予算の概要について知ることができた」ことが窺え、厳しい予算枠組みの中で、効率よく授業に必要な予算を立てる必要性を実感した。
２回目の研修会は「本学における情報及び情報システムのポリシーについて基本的な事項を理解し、保有する情報の保護と活用および情報セキュリティ水準の維持向上を目指す。」ことを目的として、情報セキュリティポリシーの基本的理解に関する研修会を実施した。情報セキュリティポリシーについての基本的理解は深まったと考えられるが、具体的事項の整備はこれからであると考える。

・授業改善アンケートについては、全学共通の方針に基づき、令和５年度も前期・後期の２回実施し、その後、教員によるコメントのフィードバックも実施した。学生による授業評価自体は概ね良好であったが、上の学年ほどアンケート回答率が低い傾向が認められた。これに関しては今後の改善点であると考えられる。また、令和５年度は、授業改善アンケートに基づいたFD研修を実施し、複数教員による意見交換や検討を行うことにより、さらなる授業改善につなげる努力をした。研修グループを領域別に６グループに分け、各グループにおいて自分たちの授業に関する意見交換を行った。このことにより、各自授業の陥りやすい欠点についての振り返りや他の授業における良いところの吸収などが可能となり、また、教員間の連携にも繋がったと考えられる。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

授業終了時期に実施（前期は６月～８月、後期は１１月～２月）。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

教員：教員個人の担当科目の結果は、C-learning（学習支援システム）で教員が各自確認している。また、学科単位でとりまとめた結果は学科として確認している。なお、本結果はホームページで公開している。

学生：C-Learning（学習支援システム）及びホームページで公開できるようにしている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨:

・医療のグローバル化に対応できる看護師の育成

・高度な看護実践能力を備えた人材の養成

・地域社会への貢献

・ITを活用した医療を提供できる能力を育成

目的の達成状況:

・国際的視野と高度な専門性

カリキュラムに英語教育や海外研修が組み込まれており、グローバルに活躍できる学生教育を実施。

学生の海外研修や異文化交流・グローバルな視点での教育を実施している。

・高度な看護実践能力

最新の看護理論や技術を学べる環境を準備し、高度な実践力を身につけられる教育を実施している。

国家試験の合格率100%を目指、即戦力として看護現場で活躍できる人材の育成を実施している。

・地域貢献

地域の医療・保健・福祉機関と連携し、学生の実習の場を提供している。

在学生の多くは、保健医療福祉現場において社会に貢献できる人材となる事を希望している。

・IT活用に向けた環境の充実

学内の情報環境を充実させ、グローバルな視点での学修を可能としている。

以上、設置時の目的をほぼ達成しながら進行している。今後は、さらなる国際化や地域貢献の強化など、継続的な取り組みを推進していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成２３年４月 公表

・令和２年１０月 公表

・令和３年６月 公表

・令和４年６月 公表

・令和５年６月 公表

・令和６年５月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公表（令和６年５月末公表）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和７年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和６年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。